

P O R T F O L I O



Limited Edition
NAPA VALLEY

The Artworks of Luc Janssens
and
Portfolio Limited Edition

“The Artworks of Luc Janssens and Portfolio Limited Edition”

目次

1. ポートフォリオ・リミテッド・エディションとフォトグラビアの密接な関係
2. フォトグラビアについて
3. ポートフォリオ・リミテッド・エディションについて
4. Luc Janssens 作品集 “Robert Mondavi Winery 2000”
5. Luc Janssens 作品集 “Robert and Margrit Mondavi, Visions and Reflections”
6. Luc Janssens 作品集 “Opus One”
7. Luc Janssens 作品集 “Clair de Lune”
8. Luc Janssens 作品集 “Passages”

ポートフォリオ・リミテッド・エディションと フォトグラビアの親密な関係

芸術家夫婦が手作りするプレミアム・ワイン

アートに渴いていますか？ 限定生産のこの新しいカベルネは芸術的なテイストを提案します。一生涯の情熱、ワインと芸術、ルックとジェネヴィヴの夫婦による努力の成果がこのポートフォリオ・リミテッド・エディションです。このカップルの手作りワインはナパ・ヴァレーの独特なテロワールから生まれた、ボルドーのクラシックスタイルを源流に持つワインなのです。

2人の経歴

ジェネヴィヴ・ジャッセンズ

モロッコ生まれ、その後フランスに渡りました。家族は古くからワインの製造にかかわる家系でジェネヴィヴは小さいころからヴィンヤードとワインメイキングの現場に身をおいていました。フランス、ボルドー大学にて醸造学の学士を1977年に取得し、その後彼女自身の醸造学研究所をプロヴァンスにて運営し、醸造コンサルティングとして70年代に多くのフランスのワイナリーを助けました。1978年に米国に移りロバート・モンダヴィ・ワイナリーにて研究員として、また醸造家のアシスタントとして働き始めました。ジェネヴィヴは10年間にわたり、カリフォルニア州全土でロバート・モンダヴィ・ワイナリーのためにさまざまなコンサルティングを手助けしました。その後1988年からオーパス・ワンプロダクション・ディレクターを9年間務めました。

フランスとカリフォルニアのワイン業界での20年以上にもわたる経験の後、彼女の新しい挑戦の条件が整いました。ワインメイキングのディレクターとして、またワインメイキング・チームの長としてモンダヴィ・ワイナリーに招かれたのです。現在ジェネヴィヴはロバート・モンダヴィの取締役でありワイン

・グローワーであるティム・モンダヴィとともに、ロバート・モンダヴィのヴィジョンのために働いています。彼女はワインメーカー長としてモンダヴィ社のフラッグシップワイナリーとなるTo Kalonプロジェクトの立ち上げに携わりました。また最近では同ワイナリーのオークヴィルシリーズで24ものプロダクトの責任者をしています。現在ジェネヴィヴはロバート・モンダヴィのワインメイキングにおける世界的ヴィジョンの一部を担っているのです。

2001年の5月にはフランス政府から農業部門で最も栄誉ある著名な “Croix de Chevaliere dans l’Ordre du Merite Agricole” が与えられました。また彼女はフランスのメドック、ポイヤックから “Commandeur d’Honneur de l’Ordre du Bontemps ” が与えられています。



ジェネヴィヴ・ジャッセンズ
ロバート・モンダヴィワイナリーにて



カリフォルニア州ナパにあるアトリエにて。手前は彼の最新の作品シリーズのひとつ「Passages」

ルック・ジャッセンズ

ベルギー、ブリュッセルに生まれました。ブリュッセルのファインアート・ロイヤル・アカデミーにてファインアートの学士課程を卒業。そこで作画、ペインティング、プリンティングを学びます。その後カリフォルニア州大学にてフランス文明についての修士課程を卒業、後サンフランシスコ大学にて多国間教育の分野で博士号を取り、現在カリフォルニア州プリーザント・ヒルにあるディアブロ・ヴァレー大学でフランス語とフランス文学を教え、またマースドにあるマースド・カレッジにて芸術史を教えている教授であります。また中国のクーフーにあるクーフー教育大学の客員教授でもあります。

印刷家また写真家としてLuc Janssensは1970年代初頭からフォト・エッチングを始め、最近ではフォトグラビア製作の作業に

没頭しています。彼の作風は叙情的な作画と写真映像を複合させたものであり、夢幻と現実の並置でもあります。彼の作品におけるアクアティントのジェスチャーと視覚に訴える清涼さは、芸術家として、また印刷家の能力をフルに引き出した結果といえるでしょう。

彼は限定版、また定番ものとして、詞やレタリングとコラボレートした作品、建築ポートフォリオ、旅行の心像、ポートレートなどのフォトグラビアも作成しています。彼の作品はプライベートまたはコーポレート・コレクションとして、米国をはじめヨーロッパ、アジアで紹介されています。

作品への取り組み

近年はアジア、特にタイなどの東南アジアに年3回は出向き沢山の写真を撮りそれらを素材として作品に取り組んでいます。作品に使用している和紙は日本で昔ながらの方法で作られているもので中には彼のためだけに職人が漉いたという和紙もあります。

彼らの自宅リビングには芸術史に関するコレクションが飾られています。特にワインに関するものが多いようです。吹き抜けになった30畳はある部屋には紀元前800年ごろのギリシャで使われていたワイン用の壺から中国で使われたワイン用カップまでいろいろ飾られています。ワインは人類とともに歩んできたと言うのが彼の考え方でもあるでしょう。

地下は彼の作業場所、アトリエになっています。機能的に配置された作業台の上には作品に必要なさまざまな道具や素材が積みまれています。壁にあるキャビネットには彼の今までの作品や素材になる銅版、和紙などが綺麗に収納されていました。彼のこれらの作品に対する思い入れはワインへのそれと同等と言えます。フォトグラビア、ワインのどちらにも誠心誠意をつくして取り組んでいることがよくわかります。

近年のコポーレート・イメージ作品としてはカリフォルニア・ワインとして有名なロバート・モンダヴィ・ワイナリーのために新しい千年紀を記念して、「Robert Mondavi Winery 2000」シリーズを、ロバート・モンダヴィ、マーガレット・モンダヴィのポートレート作品である「Robert and Margrit Mondavi, Visions and Reflections」、またロバート・モンダヴィ・ワイナリー社がフランス・ボルドー第一級格付けシャトー・ムートン・ロールトシルトとのコラボレーションで生まれたオーパス・ワンが自身の新ワイナリーで作られた最初のワインを記念した「Opus One」があります。また彼の妻であり、モンダヴィ・ワイナリーのワインメーカー・ディレクターを務めるジェネヴィエ・ジャッセンズと彼自身が自宅ワイナリーで作るポートフォリオ・リミテッド・エディション1999ヴィンテージの顧客のみに作成した「Thailand, Visions and Reflections」の作品があります。

また彼の最新のオリジナル作品として東南アジアを旅行した際の心像を記録した作品、「Passages」が好評です。

Portfolio Limited Edition

彼らのワイナリーはナパ市内の小高い丘の上にある自宅敷地内にあります。ガレージを改造し自分たちのワイナリーとしているのです。1998年に初めてのヴィンテージがPortfolio Limited Editionと言う名前でリリースされました。このウルトラ・プレミアム・ワインはその年80ケース生産され、翌年、現ヴィンテージの1999年は220ケースがボトルリングされました。使用品種はCS95%、CF5%。カベルネ・ソーヴィニオンをナパ南西部にあるHendry Ranch Vineyardから、カベルネ・フランはオークヴィルにあるWeitz Vineyardから買い付けています。これは彼ら二人がこれらブドウ生産者と長年の間信頼関係を築いてきた証です。ワイナリーでは全て手作業にて、またポンプを全く使用せず、重力の力のみでマストを絞り発酵させ、樽に移し熟成したのち、瓶詰めを行っています。彼らのワインづくりには収穫されたぶどうとその畑に対して最大限の敬意を払うという姿勢が表れています。樽は100%フランス産の新樽でTaransaud社、Radoux社、Vicard社そしてSeguin-Moreau社のものを使用しています。

Luc氏はこのウルトラ・プレミアム・ワインを日本の皆様にご紹介すると同時に彼自身の作品の個展を日本で開くこと、芸術史とワイン関係について講演を行うことなどを希望しております。彼の作品のモチーフはアジア全体です。しかも日本の和紙なしでは存在し得ません。彼の作品のふるさと日本であるとも言えます。そこから彼の日本に対する思いの深さを知ることが出来ます。

ワイナリー内の樽が置いてある部屋は1日2時間モーツァルトを流しているそうです。理由を問うと胎児が母親のおなかの中で安らかに眠るよう配慮しているとの事。まさに彼らのワインは彼らの子供のように大切に扱われているのです。ワインラベルには彼ら二人をモチーフにした顔が描かれ、まさしくこのワインが彼らのポートフォリオだと言うことが分かります。それはボトルの外観に現れているだけではなく。彼らの生き方や人柄同様、気さくな口当たりの中にどっしりと根本を流れる彼らの哲学、芸術家気質、またブドウとテロワールとヴィンテージを愛する心がボトルの中に描かれているのです。

Photogravure・フォトグラビアについて

歴史的考察

フォトグラビアの歴史は1816年フランスのNicephore Niepceの写真映像に関する実験まで遡ることが出来ます。彼は写真による画像を印刷可能なものに置き換える試みを行いました。彼のその最初の写真機械的な処理は少し原始的な方法ではありましたが「グラビア・ヘリオグラフィック」として、ディゲレオ処理法の発表より10年前の1839年に開発されました。

そのディクロメートとして知られるようになった技術は、その後「感光」技術がもたらされると確固とした地位を築きました。1850年ヘンリー・フォックス＝タルボットはゼラチン＝ディクロメートによる感光剤を発見しました。タルボットはこのゼラチン＝ディクロメート剤を直接銅版の上に塗り、感光の後、ゼラチンの層を通してエッチングを行いました。当初エッチングには塩化プラチナ溶液が、後に塩化鉄溶液が使われるようになりました。この方法により、彼は塩化鉄の濃淡によって感光したゼラチンがエッチングの深さを精密にコントロールできることを確認しました。

炭による印刷技術が1860年代に始まった後、現像プロセスとしてネガをピグメント・ペーパー（感光を行うカーボン紙）へ転写する方法を取ることににより、ウィーンのカレル・クリックは1970年代の終わりにかけて炭による印刷と、フォックス＝タルボットの写真映像処理を組み合わせ究極のフォトグラビア処理を完成させました。彼の方法は1884年から1886年にかけて急速に普及しそのプロセスの詳細は一般に知られるようになりました。その手法は複製技術として、印刷物に特別な芸術的手法を求める多くの写真家や印刷家に注目されることとなったのです。

1895年、クリックは回転印刷機シリンダーを使用したグラビア印刷に彼の技術を応用します。ダストグレインされた版はスクリーン上にコピーされ、シリンダー上の余ったインクは手作業に変わり機械的に取り除かれるようになりました。1920年からのクリ

ックの手法はロトグラビアと呼ばれ、広く普及することになりましたが、その後ダストグレイン・フォトグラビアは製法が複雑で高価なためにゆっくり姿を消していきました。その手法は1970年代終わりに一握りのアーティストが復活させるまで40年以上失われていたのです。

製法

フォトグラビア（ヨーロッパではヘリオグラビアと呼ばれています）は写真とエッチング処理を複合させた手法で、伝統的な写真印刷手法では得られない手触りの良いオリジナルな芸術作品を作ることが出来るユニークな手法です。この非常に複雑で連続諧調を持つ手法はアクアティント・フォトグラビア、ダストグレイン・フォトグラビア、またはタルボット＝クリック手法と呼ばれ、次のような手順で行われます：

フィルム上のネガティブ・イメージを望みの大きさのポジティブ・フィルムに変換します。そのポジフィルムをバキューム・コンタクト・フレーム上に置き、ディクロメート感光性を与えたゼラチン・カーボン・ティッシュューの上から紫外線を照射します。非常に良く磨かれた銅版の上に細かい粉上のアスファルト・パウダーを降らせ定着させます。感光したカーボン・ティッシュューをこの銅版プレートの上に密着させ、その後写真にイメージにしたがって様々なゼラチンの厚みがでるよう温水の中で未露光の硬化していないゼラチンを溶かします。この処理の後、銅版は3回から4回異なった濃度の塩化鉄溶液にてエッチングされ、写真のイメージどおりに様々な深さに凹凸出来上がります。この後、この銅版は伝統的な彫金技術によりレタッチされ、銅版にインクを塗り、手作業で余分なインクを除いたあとに湿らせた和紙に凹刻印刷されます。印刷された後に乾燥、修正が行われ

ます。

このフォトグラビアの手法は確かに失われていた芸術なのです。この手法には、芸術と科学、過去と未来が取り持つ世界、インクの実体性と持続性の中の希薄さとはかなさが備わっているのです。

Portfolio Limited Editionについて

1998 ヴィンテージ

Vintage 1998

Our wine is naturally handcrafted to carefully reflect the characteristics of each vintage and to capture the true essence of the terroir. Our wines are bottled unfinned and unfiltered to respect the integrity of the fruit, so some sediment is to be expected.

The 1998 vintage marks the first release of Portfolio, Limited Edition. The weather in 1998 was unusual: a growing season punctuated with heavy rainfalls, many days of frost and cold weather at bloom, some heat spells during the summer and mild weather during harvest. A delicate vintage, it allowed the grapes enough time on the vines to mature nicely. The small yield crop is reflected in Portfolio's elegance and intensity of fruit, showing multiple layers of dark black cherry and cassis with toasty, sweet oak nuances. The long, seamless finish leaves the senses floating in endless pleasure. Only 80 cases were produced.

私たちのワインはそのヴィンテージごとに現れる特徴を慎重に反映させテロワールの本当のエッセンスを取り込むよう自然な方法で手作りのワインです。ブドウの果実が持つ高潔さを大切にしたいため清澄も濾過も行わずボトル詰めしているためすこし澱があることでしょう。

1998 ヴィンテージはポートフォリオ・リミテッド・エディションの最初のリリースになります。1998年の気候は平年通りではありませんでした。ブドウの木の成長期には激しい雨が降り注ぎ、花が咲く季節には何日も霜の降りる寒い日がありました。夏の間は暑い日が続き、収穫の間は穏やかな気候になりました。この繊細なヴィンテージのお陰でブドウの房は長い時間木に留まっていることが出来、立派に熟成しました。少ない収穫高はポートフォリオの優雅さと果実味の凝縮度に反映されており、また何層にも重なったダーク・ブラック・チェリーやトーストがかったカシス、スウィート・オークのニ

ュアンスを題しています。長く、シームレスな余韻は終わりのなき喜びをもたらします。

1999 ヴィンテージ

Vintage 1999

The 1999 vintage was marked by a long, cool growing season and a heat spell at harvest time. The result in the wine is



Portfolio Limited Edition
Napa Valley 1999

very characteristic of this pattern. The ripe tannin brings elegance and finesse in a powerful way. The wine is rich and very concentrated with an intensive color. Excellent grape flavor and very tasty dark fruit of black cherry and blackberry gives layers of complexity. This

1999 Portfolio is the signature of the vintage. Only 220 cases were produced.

1999 ヴィンテージはブドウの成長期の長く涼しい天候と収穫時に続いた暑い天候によって性格づけられました。その結果このワインはこのヴィンヤードのマイクロクライメットの性格を非常に出しております。熟したタンニンは力強さの中にもエレガントさと細かさ、洗練された質の高さ、純度の高さをもたらしています。このワインはリッチで濃い色からも分かるように凝縮度が非常に高く、すばらしいブドウのフレーバーとブラックチェリーやブラックベリーのようなダークフルーツのテイストが複雑に絡み合っています。1999 ポートフォリオはこのヴィンテージの証といえます。220ケースのみ生産されました。
(www.portfoliowinery.comより抜粋)

文・日本語訳：
太田代 優（デプトプランニング）

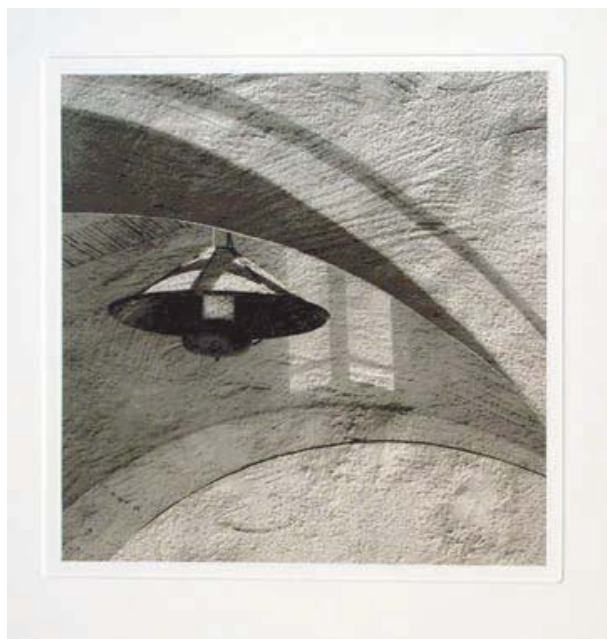
LUC JANSSENS作品集

"Robert Mondavi Winery 2000"

ロバート・モンダヴィ社2000年記念カレンダー

7インチ×7インチ、雁皮紙、フォトグラビア、計12枚組

100セット限定、1999年、65万円/セット



一月



二月



三月



四月



五月



六月



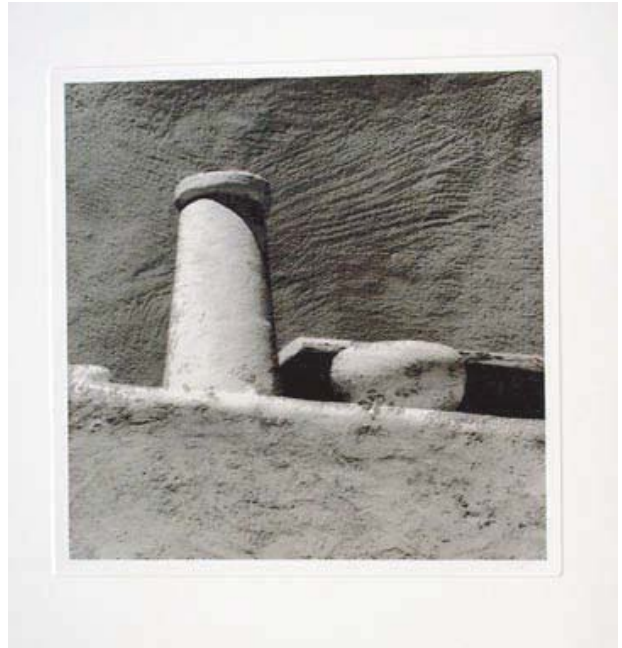
七月



八月



九月



十月



十一月

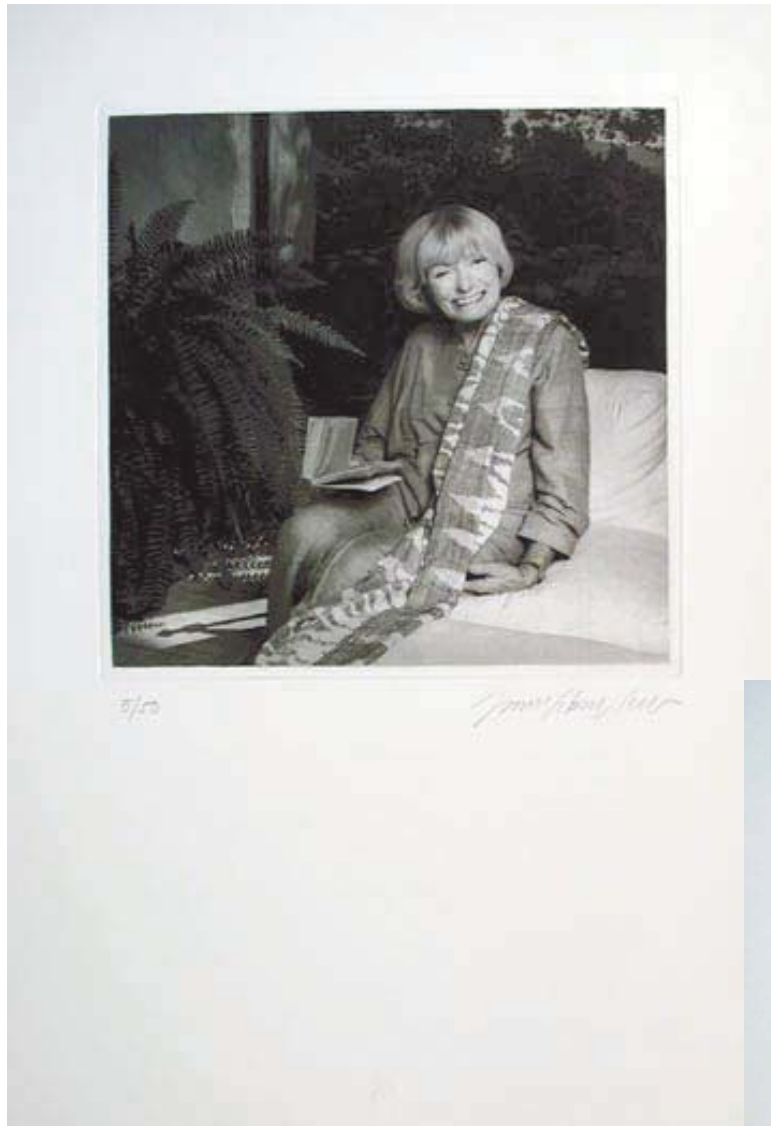


十二月

LUC JANSSENS作品集

“Robert and Margrit Mondavi, Visions and Reflections”

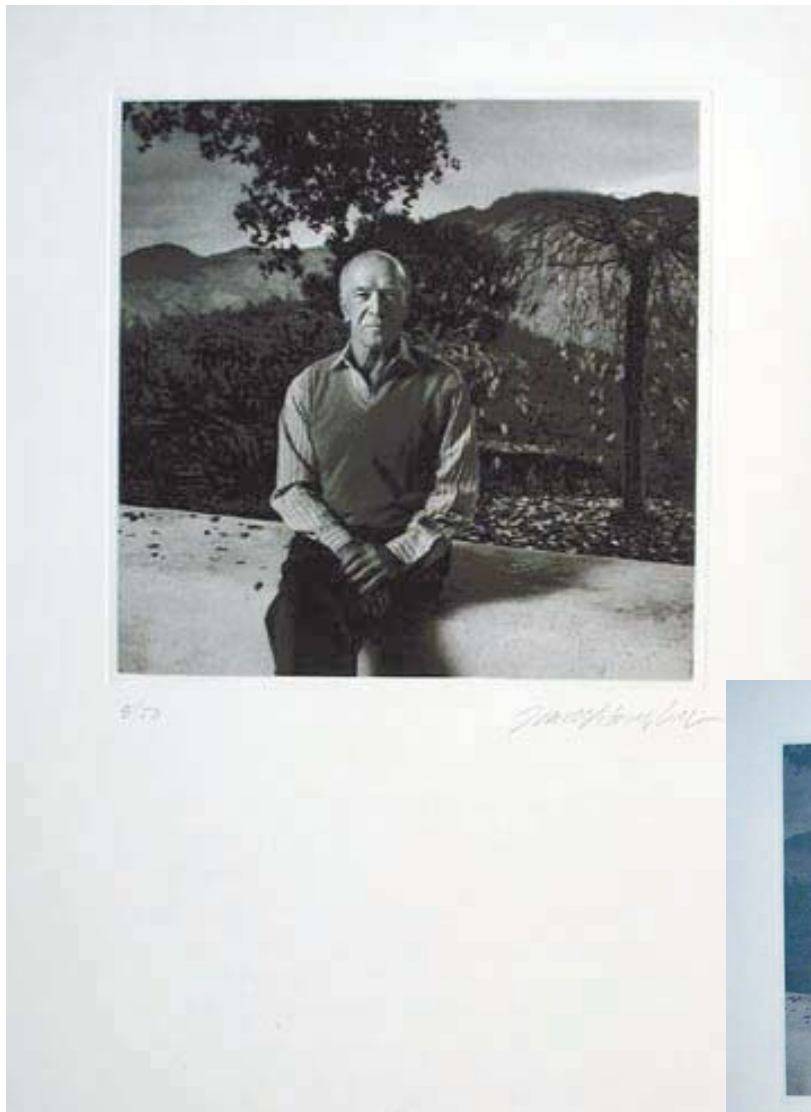
彼らに最も近い友人12名によるメッセージが各フォトグラビア別に添付される。
9 インチ x 9 インチ、250g/m²ヨーロッパ・ペーパー 15 インチ x 21 インチ
フォトグラビア、計12枚組、50セット限定、1996年、65万円/セット



マーガレット・モンダヴィ

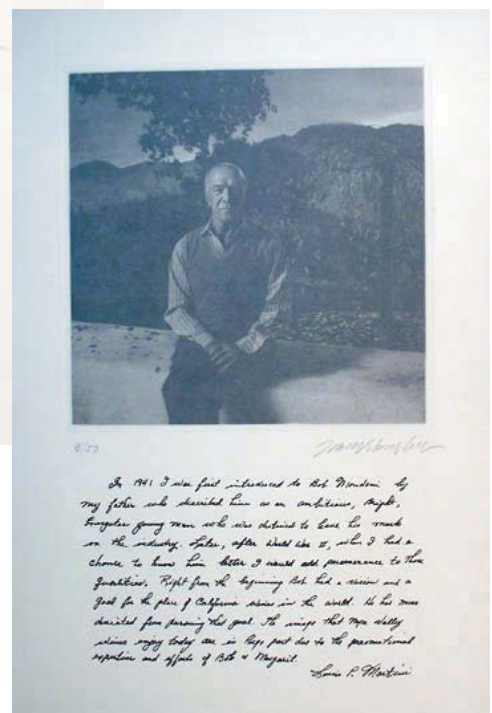
表面を覆う半透明の保護ベラム紙には米国でもっとも有名な料理人Julia Childの直筆メッセージがプリントされる。





ロバート・モンダヴィ

表面を覆う半透明の保護ベラム紙にはMartini Winery創設者であるLouis Martiniの直筆メッセージがプリントされる。





ロバートとマーガレット・モンダヴィ

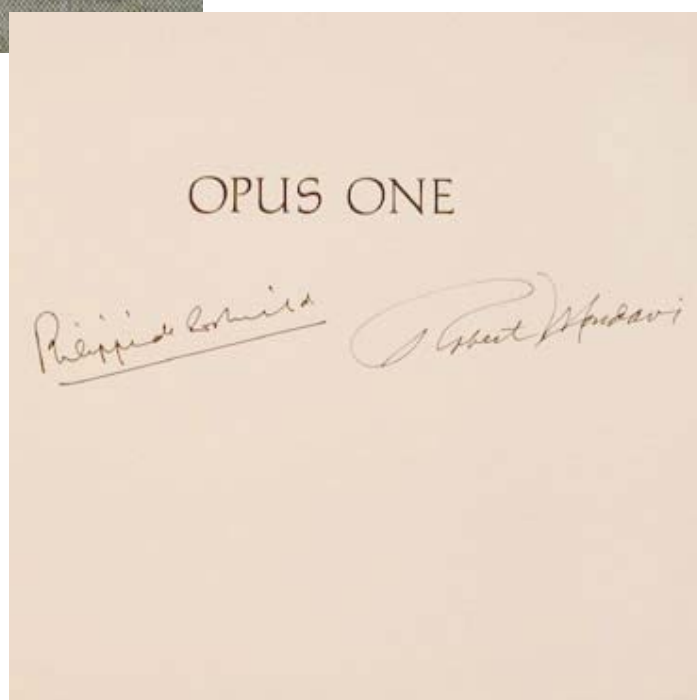
Julia Child、Louis Martiniの他にHugh Johnson、Philippine de Rothschild
など飲料、料理界で活躍する彼らの親しい友人からのメッセージが添えられる。

LUC JANSSENS作品集

“Opus One”

1991年ヴィンテージからオーパス・ワンが自身の新ワイナリーでの初めてのワイン生産を記念し、フィリピーヌ・ロールトシルト、ロバート・モンダヴィ両氏から依頼され作られた作品。

5 1/2インチ x 5 1/2インチ、250g/m2ヨーロッパ・ペーパー 11インチ x 15インチ
フォトグラビア、計12枚組、100セット限定、1994年、33万円／セット



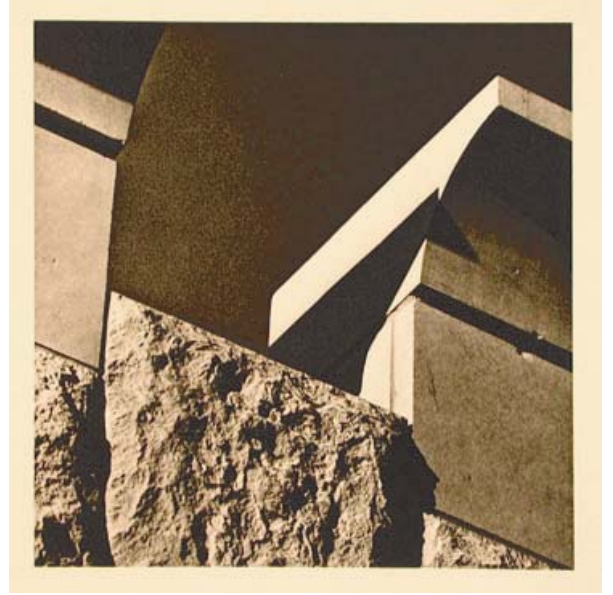
カバーページとタイトル。
フィリピーヌ・ロールトシルト氏
とロバート・モンダヴィ氏のサイン
が施されている。

For
Philippine de Rothschild
and
Robert Mondavi
in celebration of the 1991 vintage of
Opus One,
the first wine made at the winery.

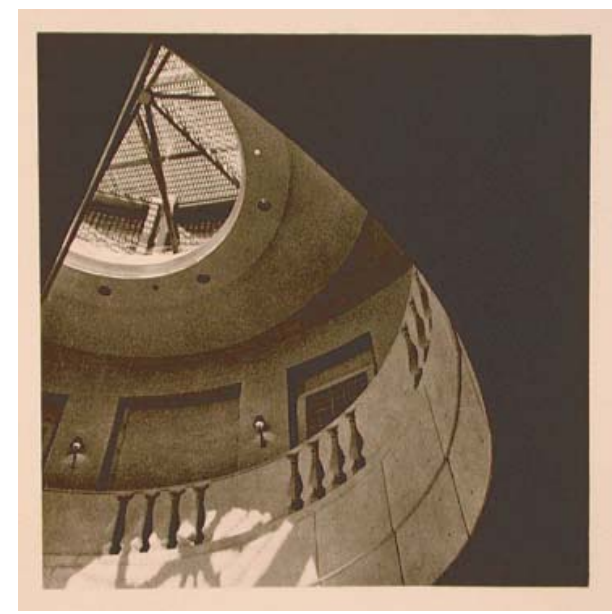
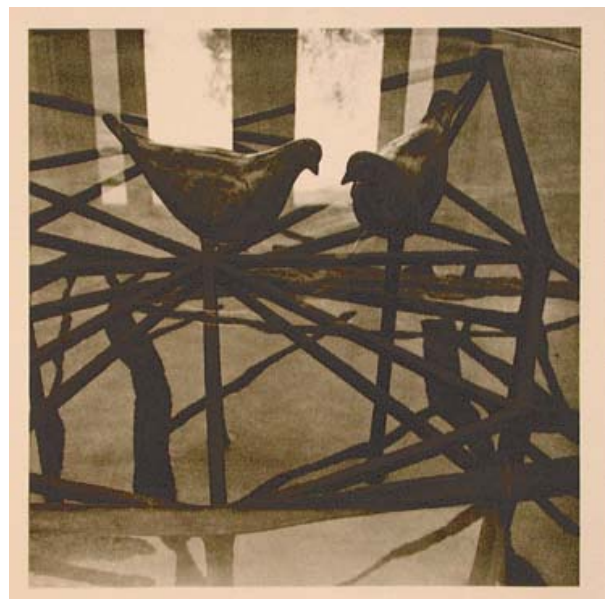
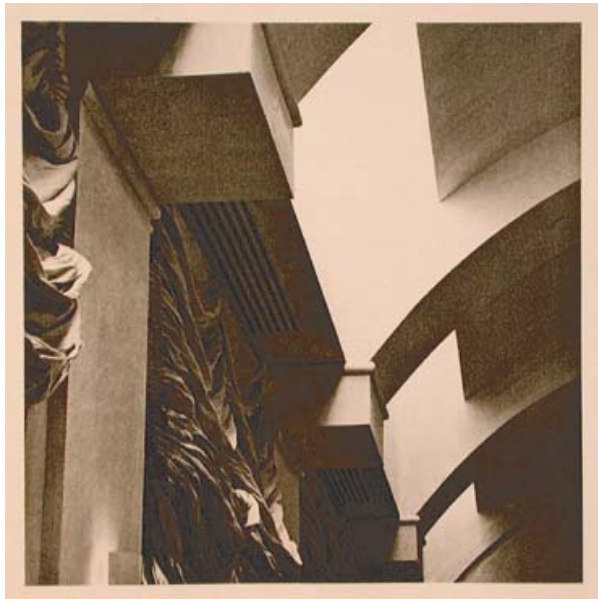
Pour
Philippine de Rothschild
et
Robert Mondavi
en célébration du millésime
Opus One 1991,
le premier vin élaboré au château.



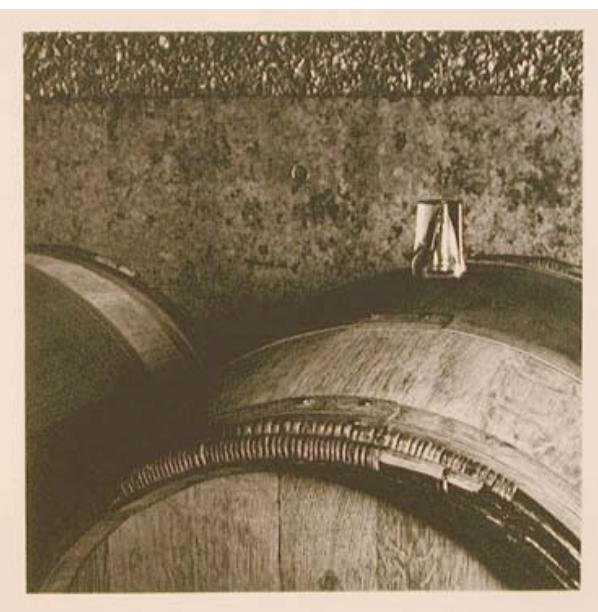
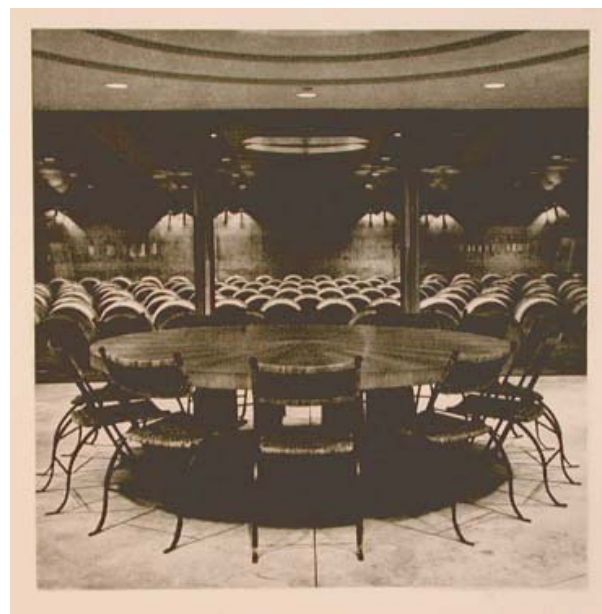
クレジットには英語、仏語にて説明がかかっている。写真右は第一プレート。



第二プレートから第五プレート



第六プレートから第九プレート



This portfolio of twelve photogravure prints was created and printed in Napa, California, by Luc Janssens. The off-edition of six artist proofs was completed on August twentieth, 1994.

Developed in the early 1890s, no other method of printing editions of black and white photographs compares in subtlety and richness with photogravure. The painstakingly complex and exact continuous-tone process utilizes the intaglio technique of etching a copper plate to various depths. The copper plate, holding different quantities of ink, is pressed onto cotton-fiber paper, creating prints unequalled in luminosity and dimensional definition.

Ce portfolio de douze photogravures a été réalisé et imprimé à Napa, Californie, par Luc Janssens. Six épreuves d'artiste, hors édition, ont été tirées le vingt août 1994.

Développée dès le début des années 1890, la photogravure ne peut être comparée en subtilité et en richesse à aucune autre méthode d'impression de la photographie en noir et blanc. Ce procédé, d'une très grande précision, utilise la technique dite en taille-douce pour graver une plaque de cuivre en diverses profondeurs. Après encrage, la plaque de cuivre est imprimée sur un papier à fibres de coton. L'image ainsi créée ne peut être égalee tant en luminosité qu'en définition dimensionnelle.

LUC JANSSENS作品集

“Clair de Lune”

オーパス・ワン・ワイナリーの夜を写した作品。

6 インチ x 6 1/2 インチ、250g/m²ヨーロッパ・ペーパー

フォトグラビア、1 枚組、5 0 プリント限定、1 9 9 4 年、4 万円



月光

LUC JANSSENS作品集

“Passages”

アジアを旅行した際の心像を記録したシリーズ。
21インチx21インチ、雁皮紙、フォトグラビア
50プリント限定、2002年、20万円／作品

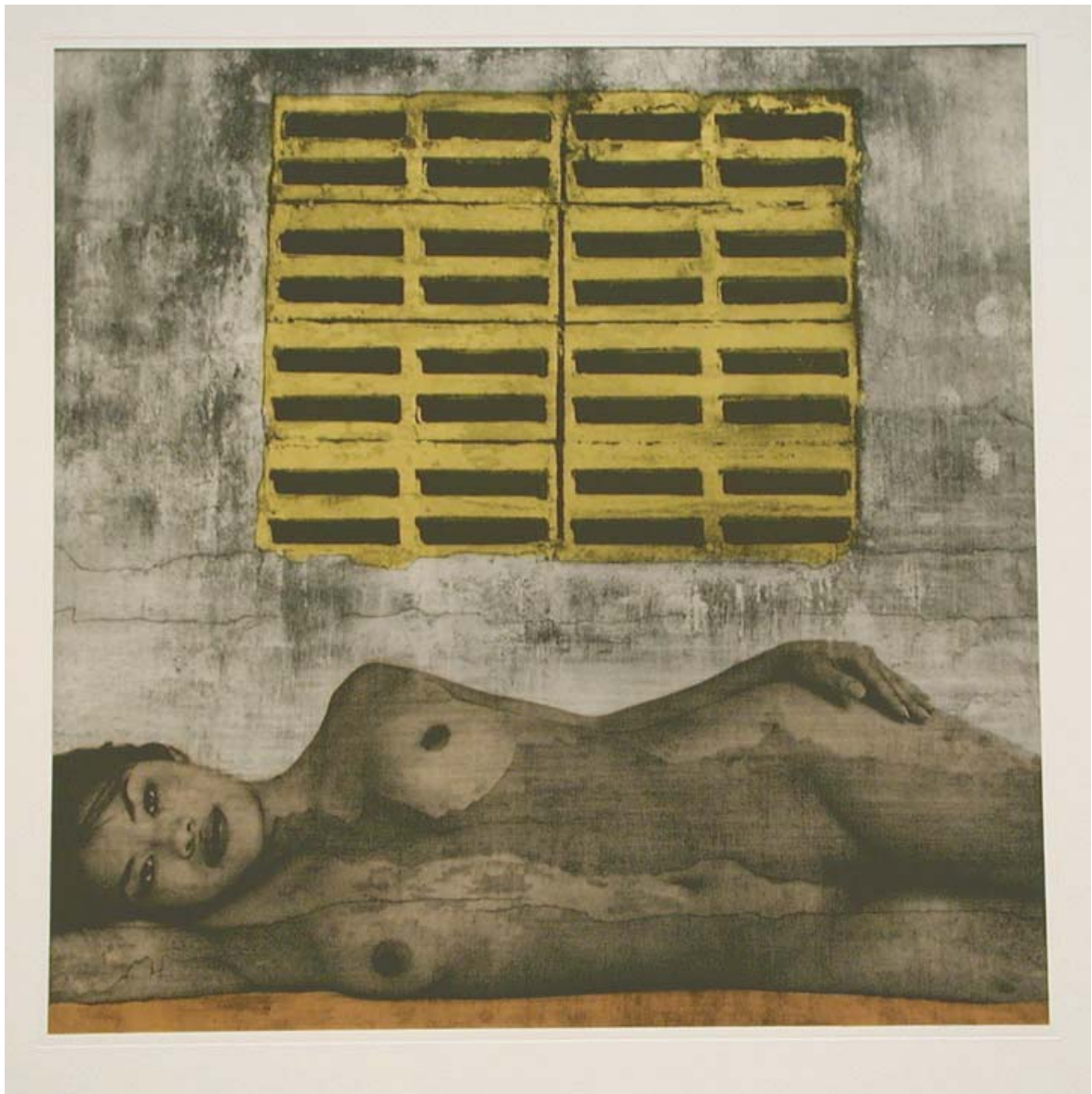




無題



無題



無題



無題



無題



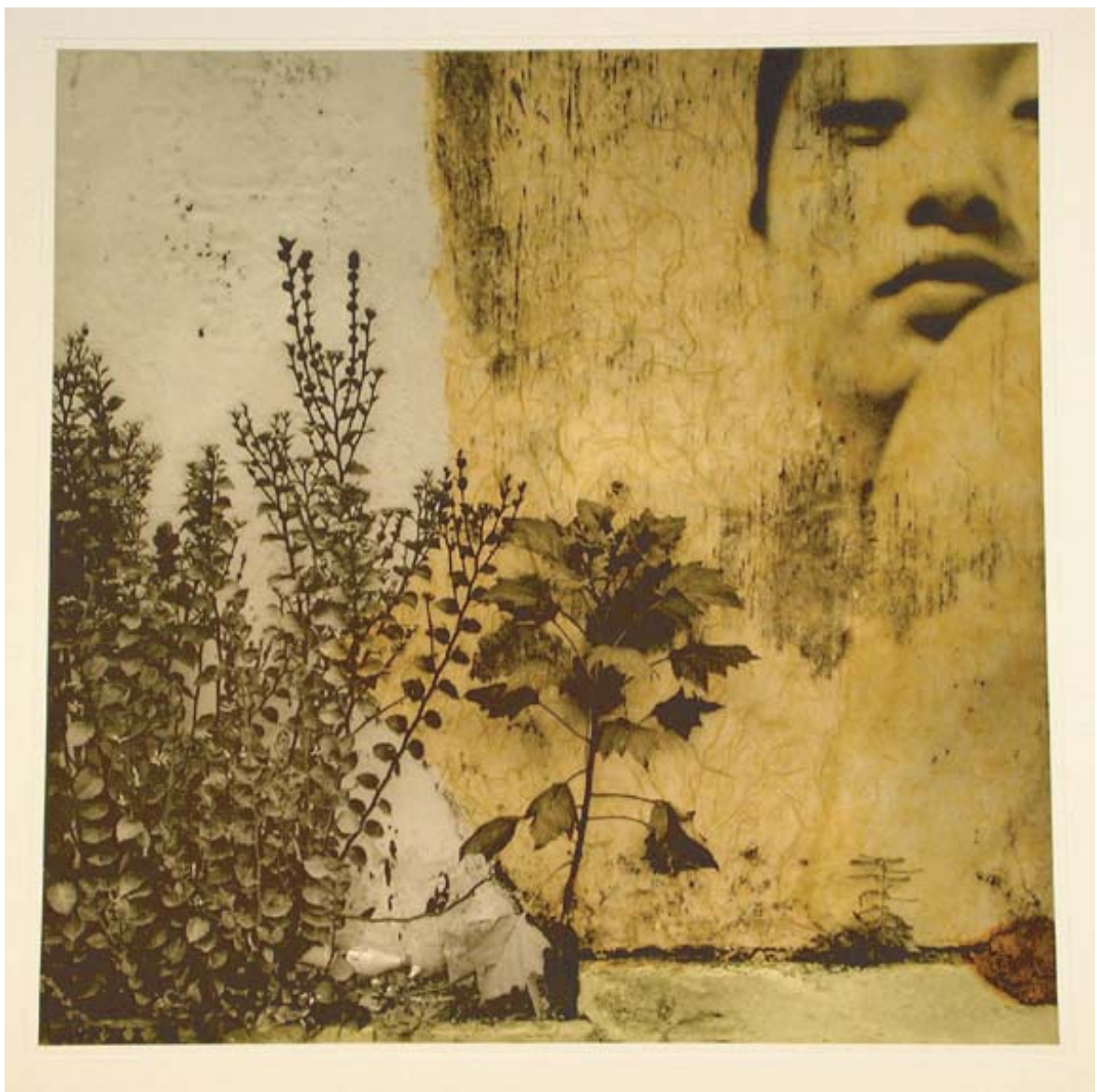
無題



無題



無題



無題



無題

作品・ワインについてのお問い合わせは

株式会社デプトプランニング

www.dept-net.com

〒170-0013

東京都豊島区東池袋 1-39-15-609

Tel : 03-5958-2877

Fax : 03-5958-2878

担当 : 長尾、nagao@dept-net.com

太田代、yutaka@dept-net.com